

研修レポート

名古屋第一赤十字病院研修医 2 年

新城市民病院では地域研修の一環として 4 週間の間お世話になりました。総合診療科の 1 人として主に初診外来、救急対応を担当させていただきました。問診、身体所見、そしてどのような病態や疾患が想起されるかをまとめ、検査や治療を行っていきます。新城市民病院では毎日、その日に診察した患者様のカルテを総合診療科の医師全員の前で発表して、振り返りを行っています。その振り返りではベテランの医師であればどのような症状、所見に重点を置いて診察をするのか、どのような臨床推論をするのか、といったことを間近に学ぶことができます。もちろん、第一の意義としては患者様に不利益がないようにするためではありますが、私たち若手医師にとって大変勉強になる場でありました。

また新城市民病院では毎朝の勉強会、Up-to-date や EBM 勉強会といった研鑽の場が多く設けられています。その中で、診療で有用な知識や技術に加え、資料や論文のどこに重点を置いて読むべきかを学びました。このように日々の診察の中で生じた疑問を限られた時間の中で解決していくための方法を知れたことは、生涯学習が必要な医師の基礎となりうるため、良い経験でした。

また病院外での活動についても見学することができました。入院する契機となった疾病や、入院による影響によって患者様の身体機能の低下が見られることが多くあります。実際に家屋訪問や訪問看護、訪問リハビリに同行させて頂き、生じた問題点に対してどのようにアプローチしているのかということも見ることができ、とても有意義でした。

しんしろ助産所も見学させて頂き、この地域で抱える問題点を知りました。約 10 年前からマンパワーの不足によって、出産をこの地域ではできないようになってしまいました。主に助産師の方々が尽力されて、お産が近くなったら近隣の病院へ妊婦を転送するというシステムとなっていることは印象的でした。

このように有意義な研修が送れたのは、患者様をはじめ、指導医・上級医の皆様、そしてコメディカル、事務の方々のご協力があったからこそであったと考えます。4 週間という短い間でしたが、ありがとうございました。